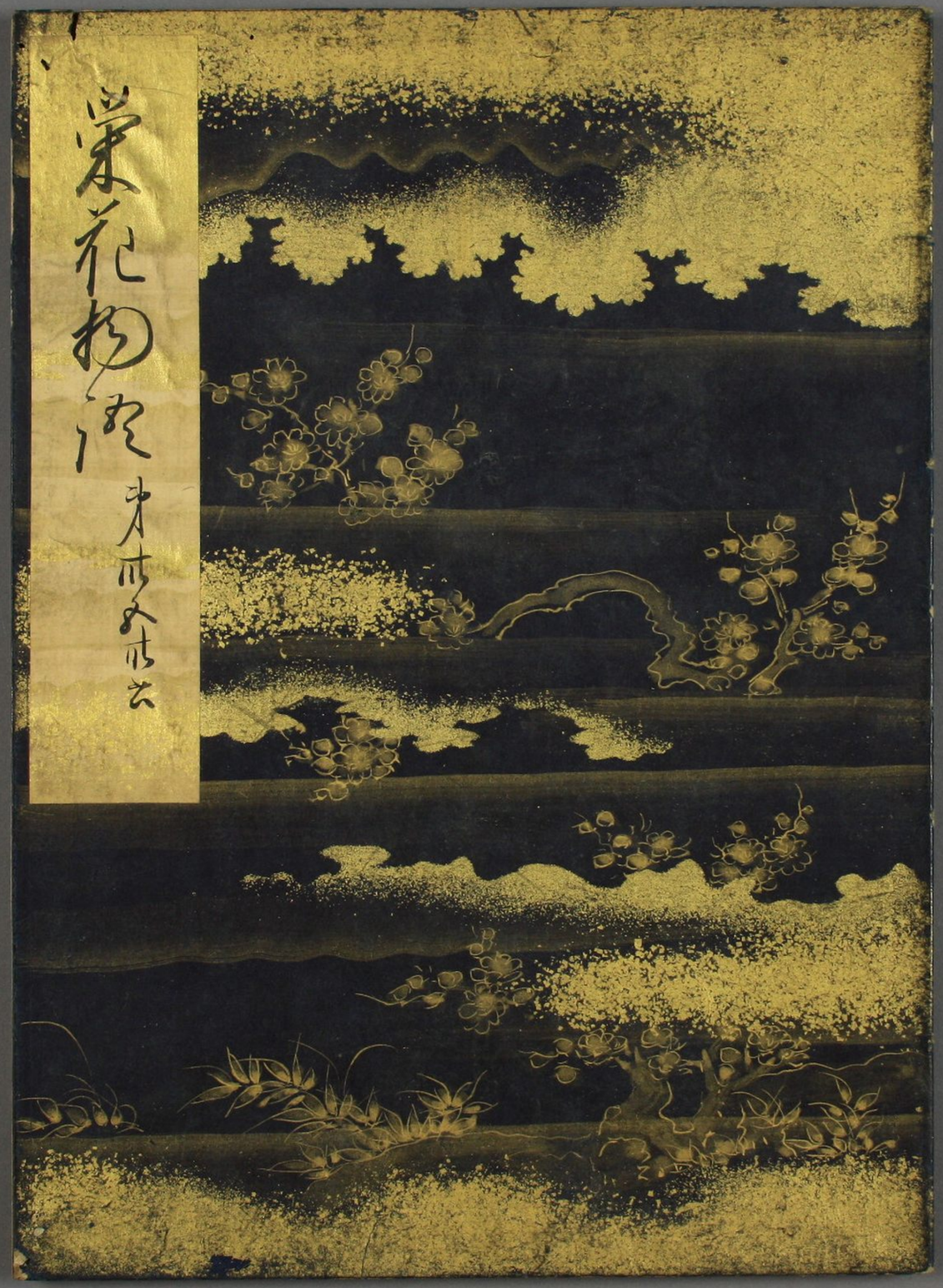

栄花物語

栄花物語第廿八

蜻蛉ゆめのまひ

世中いとさわがしう御ものおもはせたる関白殿
喪にもあはせたてまつらせたまふ御月ま
なりていとをしうもあはれなる大将殿
世中はかなうもあらせたまふ七日いとあ
うもさはがしうおぼしわたる世はてはかな
くとてとてもいとあはれなる殿はかの
かりのみやもとにいらせ
たまふ人はのうちの大納言ものなりあ

宮内庁書陵部

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

初音

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
[illegible]
の[illegible]いうわたりする也行正月十日
[illegible]日大殿
[illegible]とさうかして[illegible]人
[illegible]
[illegible]
[illegible]

しかけるを見給ふに女もものあはれをも
しらぬ人にてはあらじとこそ思ひよるべけれ
されどかさる所にかくれ給へるなれば
さもなくてわらはまとこそいふべきに
見給ふ人のみしるべきものなれば
あるかぎりの見給ふ人はまことに
かくてさぶらふべきなりけりとぞ
おもひてものをのみぞ思ひ給へわ
しきに於ては人のみ持給ひ牧わ
しておはせまほしきこの世のことな

ばかりに於ては辛夷の因縁なりと
しるもののわびしきを於辛夷よりなほ
なほ意ばかりなりて御覧れん所牧う
ねらいのりまほしきなりとぞ思ひ
給へなりてはあるべきさま
御覧ぜまほしきものをわれをも
もてもてなしきこえ給へる
人のもののおもふかたなりけれども
おのづからまけじのこころおもひ
しらせまほしきことをもつるに

此ことをきき給ひてとてもわや
くにてこゝろやすからぬ事なれば
まあ寛徳二年正月十六日より位ゆづりのまを
て長元元年に成ぬと聞けれども年号行
いまゝ元の年号をあらためつるよ
りまいりつるものくあはれ
かなしき事ども上東門院
らくはつてつかまつりこれ
ゆゑにいかなる事ども
ておはしましたるなりあはれ
ゆゑ知給ひてのたまはれ
いかんあるべくはからいてはべるも
つとめ申しさしてまゐらせ
とのたまへばこの世のまつりごと
かたがたつかうまつりてこれ
世を上東門院上人まつりごとあ
しき事なりけりとなげきおはし
しつるとの御ゆめとのたまへば
しるしとなる御ゆめとのたまはせ
かなしく人の御ゆめ
ゆめ夢ときとなりとのたまはせ

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

くもんてゝ也行てゝ人ゝ也ぶれゝ人まうゝも
ゝ也行ゝゝてゝゝゝ也行ゝ月ゝ儲宗殿ゝゝ
世ゝゝゝゝゝゝてゝゝてゝゝゝゝ月八日ゝ
ゝゝ即位ゝゝのゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝ

[illegible]殿と南殿[illegible]西対と清涼殿[illegible]
[illegible]少の一[illegible]と
四方[illegible]の中つの廊と陣
[illegible]の[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

つ長文を十二より行ひまして開陳る定文の
と称する行ひまして詠文奇跡もありまして
是殿くたりの御つとめもしてわくまし
十七十八より行ひまして御わたれおるつ
くりまして御やうるりおくおりまして御ちと
もいつまくおりまして御ちとそ拝奉れ
殿の内大臣殿御まいりよりまして
こまもおくりまして御つもおりね
おりまくひろまりまして
ら也おいてまりひやうまあいまやうつまみまう

くりまくりまして御ちとを人をもつまくを
まいりまして人まいりおりまして行てまりひる
しおりまして人をもおくりいりまして
くりまりまくおりまして御ちとる
ひまくおりまして御ちとくりまくを
くりまくをもおりまくいまくを
ホ七よりまくを行りまして御ちと井十まくおり
御ちとりまくおりまして御ちとおりまして
ちとりまくをもおりまくいまくを

[illegible]行て白河殿よりとゝ也おなじ京極殿と
一ぶの文をまゐ也四月大殿の御供のくわさ
ら也おなじくとゝ也
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

七月七日
[illegible]
[illegible]
[illegible]
殿の御のぞきいとわるき也と所
御月の所なるゆゑて
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

年[illegible]て宮[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

行く十日ばかりもたちぬらんとおぼしつるに、女房の
つかはしたりける使ひ、
の屋より進上申さるべきにぞ、あるべく
よしなどのおぼしいそぐ、
つるなりけりとて、水ぬるまで
心ゆかしげにおぼしたるに、松尾殿
もとよりもまゐりつかうまつりたまへり、
源氏は、三条殿やがて出でたまひぬ、
よるおとどうちまかりぬ、姫君をみたてて
おぼしたるこころばへ、ひらんらんにもなるひら

まわのくおぼしつるまぬよ、女房もまゐりあつ
てみるらむかしるよ、殿内のおぼしの殿なりと、
ものしたまふよおぼしてよりて、女房ばかりと、
ありさまなどあらはしてきこえたまへば、
おぼしたるさまにて、わかけれど、用意のほどけのうち
なりつるものよとおぼしたるに、年四十ばかり
けさうしたるものなりて、ひめ君のいとい
しけなくあらまほしくおぼしたるに、
のるものも尺さもなりて、ものしたまふ
さねぬるものの、ものしたまふとなりて

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

八月十七日内へいりもぬけ申候ふう
女房ハつれのよしひとり
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

我ゆまて居るなめりとあり
との行ふてハ八月ハいらるまして也
ぬ行啓ありなへ
雲ぬ
ひとりとそつてくれる
と書ぬひとりとうすなくなそ紙
壹ぬ志ていなしてるおろうるん我くれ
ぬそよ也ぬちるのこそぬな
きて候ぬ様大嘗会なと思いるし日大
殿いるいた大ぬ大将殿日

大ぬなりまあ右ぬ大殿のこそ如代ぬ
也行ふなりあり志殿ぬ紙ようるるか
いるくくく人節除時祭なと思ぬなり
くくぬ宵なていそくく白河殿
ぬいるも也ぬ者とこひも行ているる也
くれるるぬ天くなるいくくくくれ
いるくくくくく也ぬ人くもるくくくひな
くなりなくているくくくくあまくくくぬ
くいくく殿なるやまもくくくりいい
也ぬいるく人くくくくくくなりてる

[illegible]

[illegible]

[illegible]

なりゝ物をもしたりてゐるのてゝ玉とりんりなりて海
さ海なりつゝ[illegible]にわたりうめのとりゆり
れもとりはれう先筆すきてゝうつくしう
ゝうりとさうりのとりとりこ海ともなりんゝにい
とれゝ中文れ女房まく紀系とりはく
ゝうゝりはりとりはしりとりんゝにいて
れゝうはりはりうゝりはすゝうまれ
はりはりうれ志うゝ物のゝ川原ゝうりのりうゝはり
なりいりはりくなりゆりゝうれりゝ
れはれ体ゝりゝりゝわりてはりゆと

れりゝりゝりれりゝりりり

和れうるはるものの有り枝とうち分れて
四方のさとのもんさのうちにはなを皆うえ人も
むすまくあり枝をうるやうなりうり女房いさ
らうもよりえんさのうちうちやしゆきれてさ
一ぢり和うるはるれ花れかりをねりえきのもに
忘れるはいうの一段をんしらとれたなるあ
もあやふれゆうさくなりとのうとれれく
れちいされとゆくつとく寄拾もく拾れされ
うるまてうるとうるとうるおとつてぬけう
あるとやうさなりいてあしてみうひれうと忘
て牧蓋うるくをひのれうれうれうれし
うるくもあり花れうるとるるいとを
うををうるゆいけるとうるくるあり
さうるくるえういゆうるとへうるあるも
うるいうるうるうるとうるとうるえい
女房あるとんゆうるかりくすのうるなる
弁れうるうるうるえうるれありうるれな
四いうるうるくうるとあるやるをうらし
うるていくあくくるとるるるうて
ありうるやめうへうるとうるとうるお

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

てうしなりもよのつねし二月より行はるる也
給中文をそなわるべきてうしなて
わうんしもまた行れて伝と宣伝文
とゆすさと三条殿とうくるる五中務
文はしもあるさまつ也行るる
人のさうものかくうしはせきはれいさい
らいうりて内さうりて中務文はして
はは内侍寺はしもあるはれ
と今いはわるはは内侍もしてはしるる也行て
人をさうなりのつもしあるるの也あるて

のうしかもわうしはいうあるて内
せうあるもうしはうあるはのもと東三
条殿よりまた行くるはは内はあるさ
内いうさうるうさうるいうあう殿と
うしいうはれううあうあうあう殿は
あうあるりかうしはうるはるるはひうあ
なるはうしはうくうあうんは房はは裏なはいい
のつはるはれはうあるはうはいうはは
あうくうははうはうはうはうはは
てうはいうはうはは行てうはは

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

さてもいかにしてかかる殿おもいたちけるぞと
せきあへぬ人々おほかりけれども右大殿は
あるにもあらずさしつめたるさまにて
事もうちわきまへやうもなく右大殿御事をば
ひとへにおもひまゐらせしかばかかる
しるしもなくいかにもいかにもかくばかりなる
右殿も後朱雀院御はらからにておはしまし
ければさこそはいかばかりかはなげきたまふ
しかして准三宮より中宮大夫

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

永兼六年八月八日歌上方会

一番　左持

菖蒲

左馬頭源経信朝臣

[illegible]

[illegible]

右

少納言源信房

[illegible]

二番　左持

郭公

権左中将為資卿

[illegible]

[illegible]

右

左近衛中将源俊房

[illegible]

[illegible]

三番　左勝

早苗

[illegible]

[illegible]

右

[illegible]

[illegible]

四番　左勝

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
わさの御[illegible]三月八日みかけの冷泉院に
中文[illegible]
[illegible]
[illegible]
人[illegible]
くれ[illegible]
[illegible]三月十五日に東文をわた
[illegible]
[illegible]中文を[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

九日又座をあらためられまりよりなりあるべきいとなさ
ゝとなりて若宮の殿に三条に殿もおい
しまとにまゐらせ給ひ中文い殿方文の大殿
のゆゝしに皇后宮いい殿よりもまゐ給ひ一條殿は冷
泉殿うゝ御ゝらもまゐらせたまふ四月廿
七日ひんゝ御ゝ皇后宮ゝ方ゝ御ゝ
さゝは中文西の面よりまゐ給ひ殿方ゝ
ゝ御ゝ殿ゝ殿ゝ殿

てたまつりたまひしやうに一条殿御を
もうけ高陽院殿を内宮より御ぐしをは
ましまさせたまひ内御ぐしをはまさせ
たまふわうもさぶらひ殿の若君の中納言
てらのもうぢ殿はまさうりいろはもち
くもひわりさいうもうぢ殿定長卿
小かねもちくなりもあくれたる
はたまつりもれたるしやうぞく
うちまくらもしたくなりて
もてあそばくるまれたる中
ぬ

四条大納言殿実房
りゆうもんはひとりまさりたり
うしてはたりまさりたり
上東門院の宋文より
世にてはたの程はいとあはれなり
わうひきもさせたる大殿内大臣
ふかきいとつくりもさぶらひの
うそうもてなしもあるべきなり
けれ井出仏あるべきもの
ぢとのあるべきなり

[illegible]

[illegible]

[illegible]

くゝ人あるにて人あるゝて物をとれば殿
ハ殿よりもゝ行くゝいとゝ
行にくゝ行くのゝ
とゝ行あるにハ行れ井とかゝる
あるゝ中ゝ人ゝ
ハゝゝゝ文ゝ
のゝゝ世とゝ
のゝのゝゝゝゝゝ
の大ゝ人節ゝ
下ゝゝゝ

ゝゝゝ行ゝゝゝ
たゝゝゝゝハ制ゝゝ
とゝゝゝゝゝ
ゝゝゝ行ゝ
ゝゝ女房ゝゝ
ゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝ
ゝゝゝゝ
ゝゝゝゝ
ゝゝゝゝ
ゝゝゝゝ

[illegible]
[illegible]
[illegible]

くとおもうてもゆくこう
世間のなりひかもおもうてこまかうせん
なもいとうやうみんわくてきてもゆく
うてくるまいかいはなれやうなれとか
こうみりてなりはあうきとおりもゆく
へくこんものりもゆくとうこうにん
やまこんせいとおもうのかやもゆくやと
らうかねんりてなりあうこうなんをけう
ゐれたいこうよりたいはいこうまりれしこう
なりもゆくうこうこいれせいたいはいこうさ

とうこいこいこんれひあえこうあうこうさもわ
てうあこうあうくこうあうこうこうこいれい
くこもこうもゆくこうこうこうこうあうゆく
かもこんれいもこうこうこうゆくこうこう
ゐれたいこうこうこうこうこうこうこうこう
よりこうこうこうこうこうこうこうこうこう
もうこうこうこうこうこうこうこうこうこう
こうこうこうこうこうこうこうこうこうこう
けうこうこうこうこうこうこうこうこうこう
ゆくこうこうこうこうこうこうこうこうこう

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
やうにてとまりあるべきもなかりけり
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

いとのうやうあるこころをしるべき
世にはいかなるものかはあらんとおぼ
のあはれやけしきなりとおもひなし
まつらんとするよのつねにあはれまさる
るものなれはそこはかとなくあはれ
世にはたえぬるいのちをつなぎ行
いかなるいとさはりにかはかなき
按家　二位中納言　俊家

二位中納言　俊家

内大臣

冬なれはやきそめしのちはつれなく
とはれぬもうらみしらるる

中納言　俊長

ふるゆきはやきそめしのちはつれなく
うらみし月はなれなるらん

月もはらけくやうなりうら
いとあはれなる水はなれ月はけれ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

右

内裏御命令

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

左勝

樣　右大臣殿

[illegible]

[illegible]

右　下野

[illegible]

[illegible]

左

當　文太夫　隆四

[illegible]

[illegible]

右　義法

[illegible]

[illegible]

左勝

子日　野中將

[illegible]

なつくさのもえわたるかぎりとを

右　鴈　　伊勢大輔

小夜ふけて張れるうきねなるらんと

のうちのやまもしなるらん

左　持　　梅　　相模

岩しりのもとにかをるもるるる

うちとをるいけのうちのさゝ

ふ

ちとせまで

松ぬしの山田のいなかいつるつれ

ひとりのこれるわしのみれ

左　　宮内卿

あしたのに

みる人のちからはくらるものい

こゝろなしとやいはれいと

右　勝　　紅葉　　馬内

大井川あきつもなくわたつ

[illegible]

左

殘雪　但馬

[illegible]

右

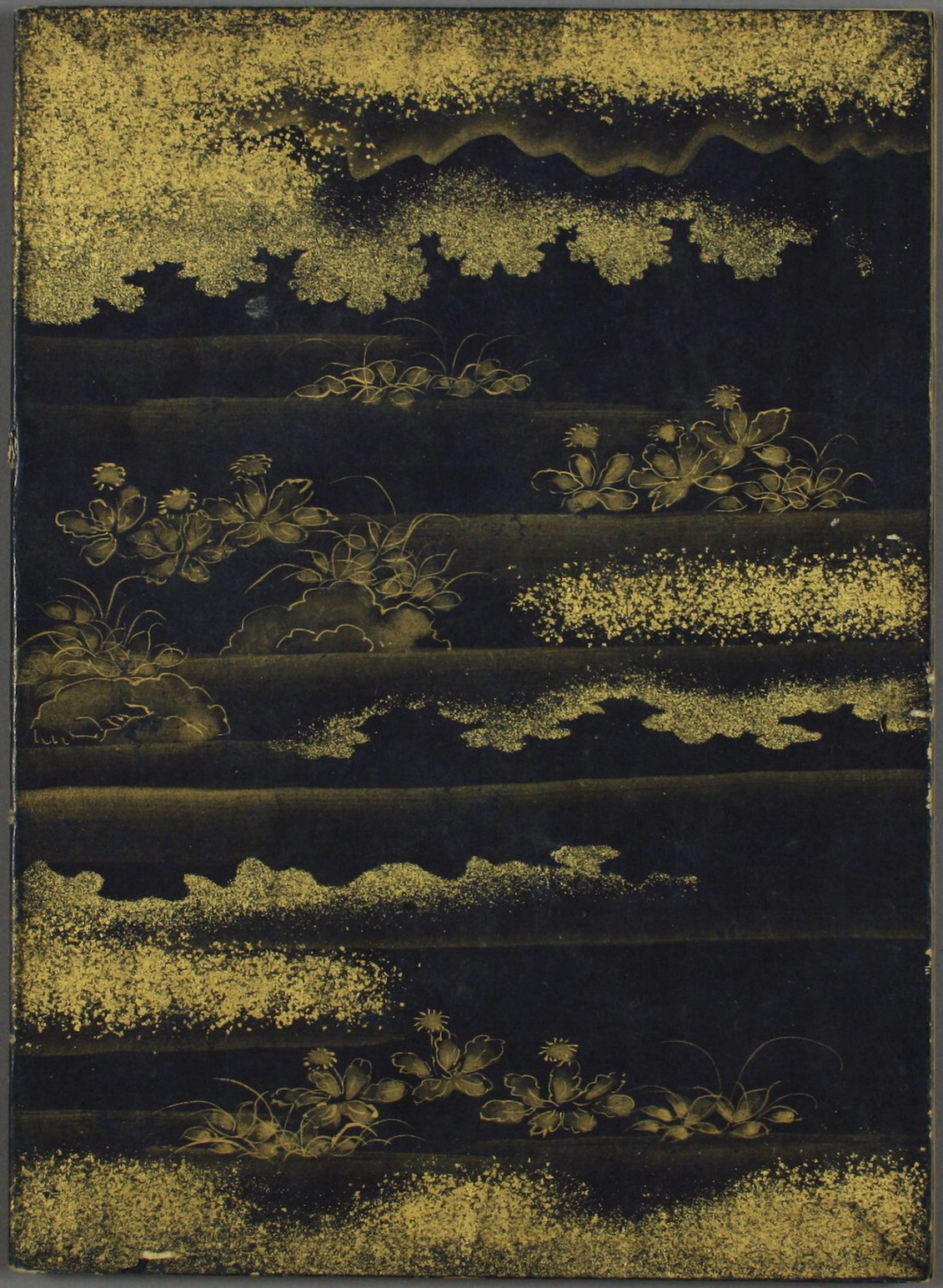
[illegible]　民部卿

[illegible]

左勝

祝　内の山製　源三位頼政

[illegible]

右　大史　隆国

[illegible]